

TTC通信

2013年(H25)
8月号/Nb.197
編集: Y. Mimura

丹沢トレッキングクラブ 代表: 坂本 達治 TEL:046-241-6839 URL:[http:// tanzawatrekking.sports.coocan.jp/](http://tanzawatrekking.sports.coocan.jp/)

夏のビッグ山行無事終了!

7/6-7の上越国境蓬峠山行に始まり、7/13-14の根子岳・四阿山、7/27-29の北ア常念岳・蝶ヶ岳、7/28-31の利尻山・礼文島、8/10-13の南ア塩見岳・農鳥岳、8/10-13の北ア槍ヶ岳・大サトウ・北穂高岳、そしてフィナーレを飾る8月定例山行北ア焼岳(乗鞍岳代替え)をもって、計画された7件のビッグ山行全件が、怪我や事故もなく、無事終了することができました。

天候に恵まれ、大きなトラブルもなく終了した山行もあれば、天候に恵まれず、今一つ残念な結果に終わった山行もありました。そのうち、3泊4日行程での南アルプス塩見岳～農鳥岳縦走では、長時間行動となる2日目及び3日目に体調不良者が出現、パーティとして緊張と苦労の2日間になりましたが、CLを中心にメンバー全員が協力して、この難関を何とか乗り切り、ゴールの奈良田温泉に全員無事下山できましたが、今後課題を残す山行になりました。

8/24-25実施の定例山行「乗鞍岳」は、天候がやや不安定な中での実施となりました。当初計画通り、乗鞍3滝の番所大滝、善五郎滝に立ち寄り、三本滝ゲートでシャトルバスに乗り換えて、乗鞍スカイラインを豊平～乗鞍岳肩ノ小屋に向かおうとした時、前夜の豪雨により土砂崩れが発生して、乗鞍スカイラインの乗鞍口も平湯口の両方向とも通行止めで、開通の見通しが無いという。

そこで乗鞍岳登山の代替え案について急遽相談。すかさず焼岳登山が提案され、次に今夜の宿の算段。電話番号がわかっていた新穂高温泉郷中尾温泉の民宿に掛け合い、13名の素

泊まり先を確保するとともに、民宿のアドバイスを受けて、新穂高観光案内所をお願いし、栃尾温泉に13名が宿泊できる旅館を紹介してもらって今夜の宿を確保。翌朝、中尾温泉登山口から焼岳をピストン登山。往路は強雨の中での完全雨装備。下山は薄日さす中での行動となったが、往路約5時間/帰路約4時間の本格登山になり、凶らずも想定外の焼岳頂上に全員元気に登頂。約半数のメンバーが焼岳初登頂であった。Wさんの女性リーダーデビュー山行での想定外のアップで、ご本人も一時、頭が真っ白になってしまったが、メンバーの英知を結集して臨機応変に対応してこの難局を見事乗り越えたことは、TTC山行リーダーとして、大いに自信に繋がる快挙となった。

新TTC-HPテスト版公開

8月上旬にデザインを一新した新TTC-HPの新サイトテスト版を公開しました。新サイトのURLは;

<http://ttc.moo.jp>

です。まだ、半分ほどしかできていませんが、興味のある方は覗いてみてください。

山行実施結果報告

★北ア常念岳・蝶ヶ岳(提案)★

★7/27(土)-29(月)2泊3日。レンタカー/公共交通利用。参加4名、天候:雨模様。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。槍穂高の大景観見えず。

★利尻岳・礼文岳(提案)★★★

7/28(日)-7/31(水)3泊4日、航空機利用。参加7名、天候:晴時々曇。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。予定通り杓形コースを下山。礼文岳登山に換え桃岩トレッキング。

山の花、野の花

ヤナギラン【柳蘭】(アガノ科ヤギラン属の多年草)



草原に群生するヤギラン(2010.8.11 志賀高原東館山)



ヤギランの拡大写真(時期・場所:同上)

晩夏の草原を彩る代表的な高山植物のひとつ。やや薄い緑色～薄紅紫色を帯びた高さ0.5-1.5mの茎をまっすぐ上に伸ばし、総状花序にピンク色の花が下から上に向かって1ヶ月ほどかけて順に咲く。長さ1-1.5cmの4枚の花弁を付け、雄蕊は8個。果実は細長く、白い綿毛を付けた種子が飛び散る。長楕円形の葉は互生。花言葉は「集中する」と「焦点」。

ヨーロッパ、アジア、北アメリカ等の北半球の温暖地域や寒地に広く分布し、北米では針葉樹林帯の山火事跡に大群落を作ることから「FireWeed」と呼ばれる。我国では、北海道・本州以北の亜高山帯から山地帯の草地や礫地に広く分布。山火事跡、森林伐採地、林道沿い、山小屋周辺やスキー場の草原等に群落を作る。田中澄江の「花の百名山」では霧ヶ峰、「新・花の百名山」では蓼科山の花。野沢高スキー場「上ノ平高原」には夏になると約3万本が咲き誇る「ヤギランガーデン」が有名。

★南ア塩見岳・農鳥岳(提案)

★★★☆☆8/10(土)-13(火)3泊4日、公共交通利用、参加4名、天候:晴。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。体調不良者が出て、2~3日目の行程難儀するも全員協力して完歩。

★北ア槍ヶ岳・大袈裟・北穂高岳(提案)★★★☆☆8/10(土)-13(火)3泊4日。

マカ利用。参加4名、天候:晴。CL/計画:、SL、会計:、救護:、マカ提供: **スタッフ名削除**。天候に恵まれ全員元気に大袈裟越え達成。

★北ア焼岳(定例)/乗鞍岳代替え★★☆☆8/24(土)-25(日)1泊2日、ハイース利用。参加12名。

天候:雨後曇。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

前夜の豪雨による土砂崩れで乗鞍力行の通行止め。急遽焼岳登山に変更。雨中9時間余行動し、全員焼岳頂上に立つ。

至近の山行予定

◇西丹沢高松山はなじょろ街道(提案)★★☆☆9/14(土)日帰、公共利用。申込み:16名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

◇南ア北岳・間ノ岳・農鳥岳(提案)★★★☆☆9/21(土)-23(祭)夜行2泊3日、公共交通利用。申込:7名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。往路夜行バス利用。

◇中ア空木岳・木曾駒ヶ岳(提案)★★★☆☆9/21(土)-23(祭)2泊3日。テント泊・マカ利用。申込3名。CL/計画:、SL/救護:、会計: **スタッフ名削除**。標高差2000m池山尾根を登る。かなり健脚向。

◆岩殿山(定例)★★☆☆9/28(土)日帰、公共交通利用。申込:14名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

◇塩原溪谷・自然探究路(ゆ)★★☆☆10/26(土)-27(日)1泊2日。

ハイース利用。申込:12名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。温泉と紅葉。参加者追加募集中。

◇屋久島宮之浦岳・永田岳・白谷雲水峡(提案)★★★☆☆10/27(日)-30(水)3泊4日。マカ/航空

機/マカ/利用。無人小屋2泊/民宿1泊。申込:9名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。事前訓練山行有。

9月募集山行

◇茂来山(提案)★★☆☆10/5(土)日帰、マカバス利用。計画:氏名削除。雨天中止山行の再計画。

◇西丹沢ユーシンキャンプ(提案)10/12(土)-13(日);1泊2日、公共交通利用。計画:氏名削除。翌日大石山登山予定。

◆丹沢鐘ヶ岳北尾根(定例)★★☆☆10/20(日)日帰、公共交通利用。計画:氏名削除。パリエーションルート。

安全登山豆知識

直前情報収集の重要性

8/23の北ア南部を局所的に襲った集中豪雨は、乗鞍岳登山を困難にし、槍ヶ岳の飛騨側登山路の右俣谷の増水で丸木橋を押し流し、飛騨側からの槍ヶ岳登山を不可能にした。山行実施直前に現地情報をネットや現地山小屋等へ電話することにより、アプローチや登山道等の最新情報を収集することを怠ってはならない。

山に想う

大菩薩峠(嶺)

#088 氏名削除

私の山登りの原点は、ここに由来するのかもしれない。それは50年以上昔のことで、先輩に連れて行って貰った大菩薩峠にあると思うのだが~。それ以前は、小学校の頃父親に連れていかれた高尾山、鎌倉の六国峠位である。

新宿からの夜行列車は登山者で超満員!塩山からの始発バスも満員で裂石まで立ちっぱなし。こうまでして山になんで登るのか?山に登る人たちの顔を見て不思議に思ったのは、何故か皆、生き生きとしている!裂石から2時間ほど登り朝食を済ませ、あまりの心地よさに草原で居眠りをし、夢心地になり始めた時、雨がポトポトと顔に落ちてきた。あわてて峠を目指し歩き始めた。カップは無いので、ビニールの風呂敷をまとい、ひたすら上を

目指した。11時半に峠の休憩舎に着いたが、満員で入れず軒下で雨を避けつつ昼飯を済ませ下山を開始する。4時半過ぎにバス停に着いたが(丹波小菅か記憶にないが)、バスは終了していた。薄暗い中、不安一杯で何時ごろ氷川駅(現在の奥多摩駅)に着くのか分らないが、黙々と歩いた。ダム工事の看板と、まばらに点いている外灯を頼りにひたすら歩き、今日中に帰れるか不安の中、口も利かず黙々と歩き続け、やっと氷川駅に着いたときは10時を回っていたが、もう歩かないで済むと思うと嬉しかった。家に着いたとき、日が変わっていたが、疲れと空腹は吹っ飛び布団に潜り込んだ

(当時私は横浜の鶴見に住んでいた)。今までの山行でいろいろな経験をしたが、50数年前の事を思い出すと何にでも耐えられる気がする。私が何時も思うのは人生=生きる事は挑戦だ!TTCの仲間と共に苦労と喜びを分かち合い、楽しいひと時を過ごし、頂上での景観や登山道で見られる自然界の姿は本当に感動する。山に登り頂上を目指す。目的は唯一つ!そして下山して無事に家に帰る。言葉でいえば簡単だが、季節によって変わる姿をどう表現してよいか分らないが、心は常に癒される。

私が初めて大菩薩に行った昭和31年(1956年)は小河内ダム、奥多摩湖は工事中で、将来どうなるのか分らなかったが、都民の水がめとして33年に完成した。その後大菩薩に登ったのは40年後の1996年6月である。仲間に当時の事を話ながら上日川峠に車を駐車し、日帰り登山を楽しんだ。昔の山に登った時の苦労を思えば、何事も頑張れる。この気持ちを常に持ち続け、仲間と楽しみ、頂上を極め、無事に下山した時の感謝の気持ちを常に持ち続けようと思っている。

次回は氏名削除さんの登場です。

9月例会:9/7(土)、厚木市陸合南公民館1F/展示室。安全登山教室18:30-19:30、例会19:30-21:00。世話人会18:00-18:30